

質 問 順 位	3	質 問 者	寄 谷 猛 男 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 市長の基本姿勢	1. 文化ホールの建設について	1. 駅周辺地区再生整備事業は、一旦停止の状態にあり、今後再開を目指して動く中で、文化ホール機能を含めた全体の再検討が行われていくものと推測する。そこで、同事業から文化ホール機能を分離し、旧文化ホールを修繕して再利用するという手法を検討する余地があるのか考えを伺う。		
		2. 旧文化ホールを修繕して再利用するという手法について検討の余地がある場合、旧文化ホールの現状を市民等が見学する機会を設けることについて考えを伺う。		
2. 個人情報保護	1. 自衛官等の募集事務に係る対象者情報の提供について	1. 市のホームページには、自衛官等の募集事務に係る対象者情報の提供について、不明な点等がある場合の問い合わせ先が記載されている。問い合わせ件数及びその内容について伺う。		
		2. ホームページの当該案内箇所は、防災危機対策課の管理するページに掲載されており、各所管の業務内容を知らない市民からすれば見つけにくいのではないかと考える。提供する情報は住民基本台帳に関することであることから、「住民基本台帳閲覧状況の公表」に準じて、市民課の「お知らせ」にも表示する等、市民目線に立った周知方法に改善すべきと思うが、考えを伺う。		

質 問 順 位	3	質 問 者	寄 谷 猛 男 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
		3. 「個人情報の提供を望まない」、「個人情報の提供には本人の同意を得て欲しい」という市民の問い合わせがあった場合には、どのように対応するのかを伺う。		
		4. 自衛官等の募集事務に係る対象者情報を自衛隊に提供するにあたり、個人情報の提供を望まないとする方へ募集案内を送付することに特段の理由はないことから、提供する対象者情報から除外することが、個人情報の取り扱いに十分配慮し、かつ、慎重に対応することになるのではないのか。市の考えを伺う。		
3. 保健福祉行政	1. 加齢性難聴に対する支援策について	1. 一般的に40歳代から聴力が低下する傾向があると言われており、聞こえにくさを感じる人が65歳を超えると急激に増え、75歳以上では約半数の方が聞こえにくさを感じているとも言われている。家族や友人とのコミュニケーションがうまくいかずに社会的に孤立し、うつ状態に陥ることもあり、認知機能に影響をもたらす可能性もあることが指摘されている。高齢者の聞こえにくいことによる生活上の様々な支障などの状況を把握し、何らかの支援策を講じることについて、現在の取り組みと今後の計画について伺う。		
		2. 国の介護保険保険者努力支援交付金の目的の中の「認知症総合支援の取組状況」に本年度から新たに、認知症の総合支援の一つとして難聴高齢者の早期発見、早期介入等の取り組みの評価指標が加えられた。認知症や介護予防の対策として補聴器購入を行った場合には、介護保険特別会計に財源充当ができるよう拡充されたところである。本市においては、加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成制度はないが、国の支援策を活用した補聴器購入支援について考えを伺う。		

質 問 順 位	3	質 問 者	寄 谷 猛 男 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
4. 教育行政	1. 滝川西高等学校における学校図書館の整備充実について	1. 公立小中学校に通う子どもたちについては、第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」により読書環境の整備が進められている。読書環境の整備の必要性は、高校生であっても同じであるが、本年度の図書購入予算は、市内小中学校と比較して少なく、道立の他の高校と比較しても少ないという。滝川西高等学校における学校図書館の読書環境の整備状況について伺う。		